

理事長としてお伝えすること

(社)日本 ITF テコンドー協会 理事長 岸玄二

おはようございます。

本日も心のあり方についてお話させていただくと共に、組織の長としてこの組織を、テコンドーをどうしていきたいのかをお話させていただこうと思います。

まず心のあり方について、強いとはどういうことでしょうか？

強いとはあるべき姿でいることです。

その話をするきっかけとして先日行われたワールドカップの話をさせていただきます。

すごく良い大会でした。スロベニアという国はとても綺麗で食事も美味しい、その中で世界中の選手たちと交流することは何ものにも変え難い経験です。

その中でも選手たちにお伝えした話があります。それは人生において一番大切な経験は何かというお話です。

ワールドカップに行って感じたことがあります。現地に到着して選手登録をして前日計量をして。色々な人と接しましたが人間そのものが変わっていました。

ワールドカップと言えど態度の悪い方や輩のような振る舞いの方は一定数量いるものです。しかし今回の大会では一人もいませんでした。

その光景を見ると改めて思うことがあります。世界中がコロナによって不自由な思いをしてきました。それが解消され、ようやくやりたいことが出来るようになった。”上手くいかない”を乗り越えて”上手くいった”に変えることが出来た時に人にはあるべき心が備わっていくということです。

あるべき心とは私が考えるのは3つ。感謝、敬意、そして反省です。子供に分かるようにお伝えすると、ありがとうと言えるかどうか、ごめんなさいと言えるかどうか、そして返事はハイと言えるかどうか。皆さんできますか？

目上の人だけとか、得をする人にだけとか、そういったものであれば心が備わったとは言いません。心が備わるとは誰に対しても出来るかどうかということです。

”上手くいかない”を乗り越えて”上手くいった”に変える経験が人にはあるべき心を備えていくことが私が人生において一番大切な経験だと思う根拠です。

皆さんは今日試合に参加するのですが、負けるかも知れません。皆さんは今日勝つことを期待しています。しかしながら期待通りに行かない時に落ち込んでしまいます。

そんな時に負けたからと言って嫌にならないで欲しい、努力を続けて乗り越えて欲しいと思っています。

なぜなら皆さんが本当に乗り越えなければならないのは人間としての”上手いかない”だからです。

選手として乗り越えることはある意味で簡単です。練習をすればいいという答えがあります。負けた時はまた人よりも練習をして乗り越えることを経験してほしいです。

人間としての上手いかないというのは人間関係のことです。

どこにいても自分にとって嫌な人はいます。学校でも組織でも会社でもです。

しかし実際には嫌な人などいません。自分がそう思い込んでいるだけです。

人間はいい人は受け入れますが嫌な人を受け入れることは難しいものです。受け入れない場合に上手いかないことを相手のせい、組織のせいにします。

それがあるべき姿では無いことは分かっているけど長い時間上手いかないとどうしても人のせいにしてしまうものです。

しかしその状況を乗り越えて行かないと人として弱くなってしまいます。人を悪く言うことが正当化されてしまいます。弱さにも気付かなくなります。

ではどうすれば乗り越えられるのか。まず弱さを知ってください。弱さとは”自分”です。あなたは過度に上手いきたいと思ってしまうかもしれません。だからこそ上手いかないことも過度に感じてしまうかもしれません。

そういった時は一度自分を捨ててください。そして強さとは何かと言いますと、弱さが自分なら強さは自分以外の所にあります。この場合はあえて”相手”としてみましょう。自分ではなく、相手を大事にするということです。

ここに人間の難しさがあります。嫌な相手を大事にしようと私は言っているのです。嫌な相手のために何かをすること、嫌な相手のために自分を変えなければならないということです。

強いとはあるべき姿でいることと申し上げましたが、突き詰めていくと変わるかどうかなのです。変わる人こそが強いという事です。

この組織はテコンドーという共通の好きなことがあって集まっている組織ですが、それでも人間関係で色々な不具合は生じます。

そんなときも相手を悪いとせずに自分を変えることで問題解決してほしいと思っています。そういった経験を多く積んでほしいと思っています。お互い同じものを好きになったのですから投げ出してほしくはないと思っています。そういった経験を積んで黒帯、指導者、師範になってほしいと思っています。そうすることが自分自身とこの組織をより良くしていくでしょう。

最後にこの組織を、テコンドーをどうしたいのかというお話ですが、武道大国と言われるように日本には多くの武道があります。

その中であって”日本で一番人に必要とされる武道”でありたいと思っています。

具体的に例を挙げると、例えば会社の面接に行った時に『テコンドーをやっています』ということで『ではあなたは人として間違いないね』と言われてたり、真っ当な人間に育てほしいと願う保護者様がまずテコンドーを選んでくれたり、それが高いハードルということは分かっています。私が生きている間に実現することは難しいかもしれませんが。しかしブレずにそこを目指して行きたいと思います。

皆さんに私について来いと言う気はありません。

皆さんは好きになったテコンドーを楽しんでほしい、より好きになって欲しいと思っています。

私は目指すところに辿り着けるように私自身を変えていくだけです。

私からは以上です。

ありがとうございました。

2022年11月19日
第14回全国新人戦にて